

分科会開催報告書

報告日 令和 5年 8月 10日 (木)	報告者 吉武惇二
分科会名 古文書を読む会	開催テーマ 徳川慶勝の八雲開発と酒井伴四郎の日記について
開催日時 令和 5年 6月 10日 (木) 午前 10:00 時 ~ 12:00 時	開催場所 金沢公会堂第二会議室
参加人数 古文書を読む会会員 男 8名 女 3名 合計 11名 (欠席者 1名)	
<p>1. 尾張藩主徳川慶勝の晩年に当たる明治維新以降は、家臣のために私財を投じて、北海道八雲村の開発に腐心した。今回はその八雲開発に関する概要を学習し、これをもって、本年 1 月より開始した慶勝の生涯にわたる業績についての学習を終了した。</p> <p>2. 徳川慶勝に関する講義終了に続く新たな教材として、紀州藩の下級武士酒井伴四郎の日記が選定された。この日記は、酒井伴四郎が幕末江戸への単身赴任中に書き留めたもので、その内容は、江戸藩邸内の長屋暮らしから、外食と自炊、芸事と余暇、武士同士の付き合い方等に至るまで、多岐多様に亘っている。学習会で取り上げる具体的なテキストは、江戸赴任のため紀州から江戸までの中山道の旅路（5月 11～29 日間の 19 日間）について学習することとなった。</p>	
次回予定 令和 5年 9月 14日 (木) 10:00～12:00 場 所：金沢公会堂第二会議室 テーマ：酒井伴四郎日記について	